

令和6年2月吉日

保護者 様

一宮市立浅野小学校長
今枝 育彦

「令和5年度 学校教育推進のためのアンケート」のお礼と結果について

保護者の皆様方には、本校の教育活動のためにご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、一昨年度から通信端末を用いたGoogleフォームによる回答の形式とさせていただきました。今回につきましては多くの方々のご協力をいただき、ありがとうございました。また、このアンケートは、本年度の本校の教育活動を振り返るとともに、次年度に向けて、より実のある教育活動を展開するための貴重な資料です。

つきましては、アンケート結果を下記のようにまとめましたのでお知らせします。なお、今回の結果につきましては、教職員一同、来年度の学校経営に活かし、教育活動のいっそうの充実を図ってまいりたいと存じます。今後ともよろしく願いいたします。また、集計結果をグラフにまとめたものを学校ウェブページに掲載しました。ご参照いただくと幸いです。

《アンケート結果のまとめ》

【項目1～6 学校への関心について】

- 全体として、学校への関心が高く、保護者、地域、学校の連携にも高い評価をいただいています。今後とも明確な目標のもと、魅力ある学校づくりに向けていっそう努めます。今年度より保護者の方々のご自分の都合に合わせてながら自由に参加できる「ちょいボウ隊」を発足し、あいさつ運動やミシンの見守り活動、環境美化活動に参加いただきながら、子どもたちの学校での様子を知っていただくことができました。今後も学校と保護者の方々との連携を大切にしながら、教育活動を進めてまいります。
- 学校行事の報告やコロナウイルス感染症の対応に学校ウェブページ、メール配信等の連絡手段が非常に役立っていることが分かりました。特に連絡ツールを変更したことにより、各たよりの配信や各学級単位での連絡配信も可能になったことで、よりきめ細やかな連絡ができるようになりました。今後も、学校生活の様子がよくわかるように教育活動の発信に努めます。

【項目7～12 本校の姿勢・対応について】

- 9割以上の児童が学校が楽しいと答えており、学校が多くの児童にとって居心地の良い場所になっていることが分かりました。特に学校行事についてその意義を感じている方が多いことから、子どもたちが意欲的に取り組むことができる方法を工夫することで、達成感を味わうことができる行事づくりを目指してまいります。お子さんの悩みや相談について、学校で相談できると答えた児童が多くを占めるものの、相談できない児童もまだいるということを受容し受け止め、日々の声掛けはもちろん、アンケートの実施や教育相談の場を有効に生かしながら、児童はもちろんのこと保護者・地域の皆様の声にもいっそう耳を傾け、寄り添いながら親身な対応ができるよう努めていきます。

【項目13～21 学習・体力面について】

- 基本的な学習マナーや基礎・基本的な学力の定着について身につけていると感じている方が多く、今後も、子どもたちの学ぶ楽しさと学ぶ意欲を引き出し、学習の基礎・基本の定着が図れるよう、学習指導のさらなる充実を努めます。
- 家庭学習の習慣化については昨年度に引き続き、約92%の高い値を示しており、保護者の方のご協力に感謝しております。
- 昨年に引き続き読書離れの傾向がみられており、読書好きの児童を増やしていかなければならないという課題も明確になりました。今後も引き続き、「読書ゆうびん」「読み聞かせ」等、さらには日々の学習の中での図書館の活用を進めることで、図書館利用促進に努めていきます。
- 最後までがんばる気力や体力については低下していると考えご家庭が増えていることが分かり、これまでのコロナウイルスによる様々な制限が子どもたちの気持ちにも関与していることが考えられます。日々の学習や遊びの中でのびのびと活動できる場を設定するとともに、子どもたちに目標を持たせながら物事に組みこませることを意識しながら教育活動を進めていきたいと考えています。

【項目22～30 生活・安全面について】

- 社会生活におけるルールやマナー、あいさつの習慣については、各家庭や地域の方々に、日々ご理解・ご協力をいただいているおかげで、9割以上に及び方ができていると感じてみえることが分かりました。今後も子どもたちの基本的な生活習慣として、日常生活におけるマナーやルールの遵守などを、家庭・地域・学校が緊密に連携する中で、育成を図っていきたいと考えます。
- 大規模地震等に備える家庭での話し合いは7割ほどとなっており、大規模地震や災害が日本の中で頻りに起きていることを子どもたちに伝えながら、定期的な避難訓練の実施や日常の安全指導に努めていきます。また、ヘルメットの着用は一昨年度より義務化となっており、増加傾向でした。今後も学校・家庭・地域が一体となって、児童の安全確保に努め安全教育を推進します。